

### —おまごし内容—

1. 夏休み増え続ける少年非行 (1P)
2. 役場機構を改革 (2P)  
7課3局1室制となる
3. 村職員募集 (2P)
4. 利用して欲しい  
新しい自転車小屋 (3P)
5. 家庭調査にご協力を (3P)
6. 農協が二度目の優勝 (4P)
7. 三市中浦PTA研究会開催 (4P)



シリーズ村の特産⑥

沢海地区里いも

## 夏休み

### 増え続ける少年非行

#### —少年非行防止特集—

子供達にとっては、たのしい夏休みがやってきました。しかし親にとってはなかなか心配ごとの多い夏休みです。そこで夏休みと少年非行問題とその防止策について特集しました。

子供たちが、心身ともに健康でたくましく育ってほしいと思ふのは、すべての親の願いです。ところがこうした親の願いとは裏腹に、年々少年非行が増え続けています。昭和五十四年の、成人も含めた全刑法犯三十六万八千人のうち、その約四割に相当する十四万三千人が、十四才以上二十才未満の少年という憂うべき状態となっています。

これは、少年千人に対し十四・五人が補導された勘定になります。戦後最高の記録です。一方、教の面ばかりでなく内容においても、ごく普通の家庭の少年による非行が増え、低年齢化が一層拍車がかかるとともに、年少少年による殺人事件の多発、暴走族少年による凶悪犯罪、事犯の増加のほか、中学、高校生による校内暴力事犯が激増するなど、新たな問題をはらんでいます。夏休みは、子供たちの生活のリズムが乱れ、親もゆるみ

子供は、ある日突然非行に走るわけではありません。小さな風船がだんだんふくらんでやがてパチンとはじけるように、徐々に非行への道に深入りしていきまふ。この過程で、さまざまな非行へのきざしが見られます。子供の非行防止も、病気の場合と同じように、早期発見が大切です。そのためには、ふだんから子供の生活を注意深く見守りながら、非行の芽を早いうちにつみとってしまふことが肝心です。



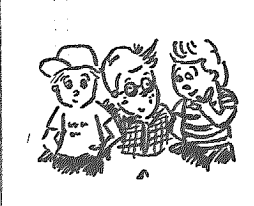
横中のクラブ活動

### 早いうちにつみとろう 「早期発見」の手立てを考ふる

子供の心の中に何が生まれ、どう変わっていくのか、そしてその原因は—などについて考ふる、適切な処置をすることが必要です。

- ◎ウツは非行化の赤信号。成程が急激にダウン。
- ◎ふらりと外出する。
- ◎親の知らない友だちが増える。
- ◎服装や髪形をしきりに気にする。
- ◎多額の小遣いを要求する。
- ◎夕食をあまり食べない。
- ◎読書の内容が変わる。
- ◎かくれてタバコを吸う。
- ◎なぜやらない言葉遣いが多い。

子供は、ある日突然非行に走るのではなく、小さな風船がだんだんふくらんでやがてパチンとはじけるように、徐々に非行への道に深入りしていきまふ。この過程で、さまざまな非行へのきざしが見られます。子供の非行防止も、病気の場合と同じように、早期発見が大切です。そのためには、ふだんから子供の生活を注意深く見守りながら、非行の芽を早いうちにつみとってしまふことが肝心です。



早起き野球大会も終り、梅田の村民野球大会も二十日より始まった。野球ファンにとってテレビのナイター放送も又なんとも云えない。テレビを見ながら監督や解説者になったりしているヤングレディも増えている。ナウな感覚の彼女らに青少年の非行について聞いて見たら「親が放任し、精一杯甘やかしておいて問題児となつてからでは」とか、シンナー等薬物乱用常習者に対して「一部の人は心が心配しても本人の自覚と家族が真剣に取りくまなくては、更生は不可能だ」とか、「と云うようなことを云つておいて、クラブと聞いて思はず笑つてしまつた。西武の田淵選手ランニングホームラン。つまりあり得ぬ事だと云うことだ。昨年の流行歌の中で野球の選手の名も使われた。「小林」の例だ。逆風に飛ばす力一杯頑張るのが小林。であり過保護の親子関係、力があるのに過当に暴露したりする事を、江川と表現するようだ。いつも全力投球の阪神の小林と、どこか余力のある巨人の江川のピッチングからきているわけである。どうも親と云うのはまだまだ子供に対して江川や氣(過保護)があげず一人前になつていないようだと風評がある。今年も夏休みに入つた。いつもの通り大の年輪ワンパターンにならないようお互いの家庭でしっかりとしたプランを立て今年こそ、ヤングにツッパを向かれないよう努力していただきたい。正しい日本語がどうの、いまだに「若者は?」と云うような心配も必要であるが若者と共に話し合い絶妙なバランス感覚についていくように親も努力し勉強する必要があるのではないかとと思う親の一人である。(山崎)